

事務事業名	フィルムコミッション推進事業				担当	産業部 商工観光課 観光係		
政策名	3	「にぎわいづくり」～まちの活力アップ!～				☒ 総重（総合計画重点事業） ☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 総新（総合計画新規事業） ☐ 戦新（総合戦略新規事業）	
施策名	4	観光の振興						
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略							
法令根拠					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 毎年度実施（開始年度 平成27 年度～） ☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
予算科目	1.一般会計	7.商工費	1.商工費	3.観光費				
予算科目								
予算科目								
事業概要	映画、テレビやCM等のロケーション撮影を誘致するため、新たな撮影候補地の発掘や既候補地の磨き上げを行い、テレビ局等へ積極的に営業を行い本市の知名度向上に努め、受入れ態勢の強化を図る。 また、ロケ弁受注など市内消費につなげる。さらに、撮影地をPRすることにより、ロケ地巡りや聖地巡礼など、観光誘客を図る。 もおかフィルムコミッションを運営する真岡市観光協会の支援を行う。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
3年度実績 もおかフィルムコミッションの活動 問合せ件数：65件 ロケハン案件：18件 市内撮影：3件 4年度計画 もおかフィルムコミッションの運営支援と撮影の誘致 ロケ候補地の発掘 ロケ地マップの制作 ロケ地跡PR看板の設置				名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)
				ア ロケ候補地	所	72	72	72	72	72
				イ 補助金	千円	12	12	12	32	32
				ウ						
				エ						
				オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 観光客				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
				名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)
				ア 真岡市を訪れた観光客	人	2,960,527	3,177,751	1,784,577	1,579,223	1,579,223
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 映画・テレビドラマ・CMといった映像作品のロケーション撮影が円滑に行われるための支援を行うフィルムコミッションを推進することで、本市の知名度を向上させ、さらに誘客を図る。				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
				名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)
				ア 問合せ件数	件	50	55	46	65	50
				イ ロケハン案件	件	17	19	10	18	15
				ウ 市内撮影件数	件	13	8	8	3	8
				エ						
				オ						
② 総事業費の推移				単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	12	12	12	32	32	
	事業費計（A）			千円	12	12	12	32	32	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) フィルムコミッションを推進することで、真岡市の知名度が向上し、観光施策に結び付く。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 観光の振興に繋がる事業であり、市が推進する事業である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 本市の知名度を向上させ、誘客を図るための事業であり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地はない ☒ 向上余地がある (評価理由) フィルムコミッションをより強化し、情報を発信することで、ロケの誘致に繋がる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる (類似の事務事業名：) ☐ 類似事業と統合・連携できない (類似の事務事業名：) ☒ 類似事業はない (評価理由) フィルムコミッションに関する事業は、類似事業がなく、統合連携ができない。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 事業を推進する最小の経費である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（☐：目的妥当性 ☐：有効性 ☐：効率性） ☐ 統合 ☒ 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td style="border: 1px solid black;"></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td style="border: 1px solid black;"></td><td style="border: 1px solid black;"></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(2) 課題、課題の克服の方向性																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足(説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容が客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	/	低下		/	/
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上																						
	維持		○	/																			
	低下		/	/																			
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																						